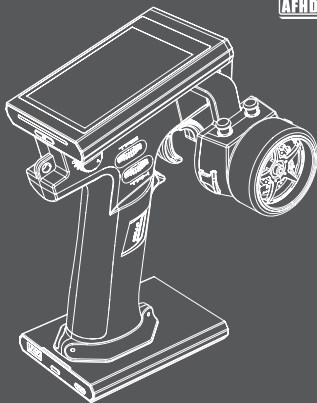


FLYRY

Noble NB4+

2.4GHz
AFHDS 3



クイックスタートガイド

注意事項！

安全のため、この製品を使用する前に、FlyskyのWebサイトから免責事項と警告の文書をダウンロードして必ずお読みください。

FlyskyのWebサイト：www.flysky-cn.com

1. CEは、この送信機で使用するアンテナの設置は、すべての人員から離れた場所に維持する必要がある、他の送信機と併用したり使用したりしてはならないと警告しています。エンドユーザーとインストーラーは、RF曝露コンプライアンスの要件を満たすために、アンテナの設置手順と送信機の動作条件を提供する必要があります。
2. [ShenZhen FLYSKY Technology Co., Ltd.]は、RF機器[Noble NB4+、NB4+]がRED2014/53/EUに準拠していることを宣言します。
3. EU DoCの全文は、www.flyskytech.com/info_detail/10.htmlでご覧いただけます。

ISED準拠ステートメント

このデバイスには、カナダのイノベーション、科学、経済開発省のライセンス免除RSSに準拠した、ライセンス免除の送信機/受信機が含まれています。操作には、次の2つの条件が適用されます。

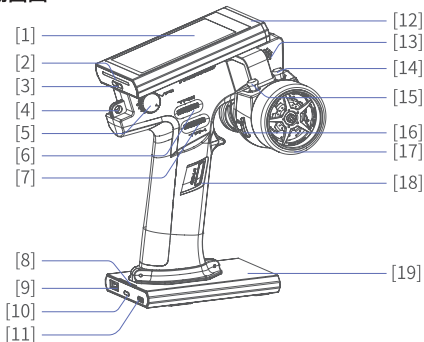
- (1) このデバイスは干渉を引き起こしてはなりません。
- (2) このデバイスは、デバイスの望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、あらゆる干渉を受け入れなければなりません。

この機器は、制御されていない環境向けに設定されたIC RSS-102放射線曝露制限に準拠しています。

RF曝露に関する声明

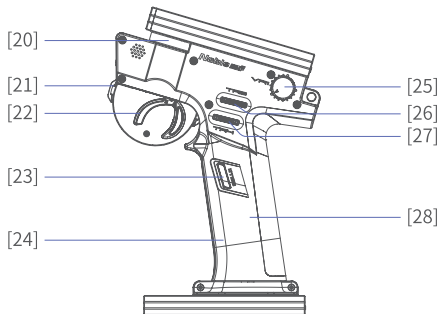
このデバイスは、一般的なRF曝露要件を満たすように評価されています。このデバイスは、制限なくポータブル曝露条件で使用できます。

右側面図：



- | | |
|--|------------------|
| [1] ディスプレイ | [12] 内蔵アンテナ |
| [2] 送信機インジケータ | [13] スピーカー |
| [3] 送信機電源ボタン | [14] TR2 |
| [4] ネックストラップフック | [15] TR1 |
| [5] VR1 | [16] SW2 |
| [6] TR3 | [17] ステアリングホイール |
| [7] TR4 | [18] SW1 |
| [8] ベースバッテリーインジケータ | [19] ベース（取り外し可能） |
| [9] USB 5V 2A出力ポート | |
| [10] ベース電源ボタン | |
| [11] タイプC入力ポート、ファームウェアアップデート、
充電ジャック、シミュレータポートへの接続、
トレーナーインターフェース、ヘッドトラッカーインターフェース | |

左側面図:



[20] ステアリングホイール
スイベルブラケット

[21] SW3

[22] トリガー

[23] SW1

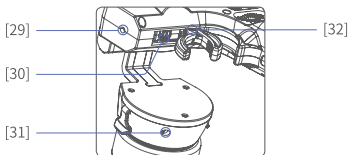
[24] ハンドル

[25] VR1

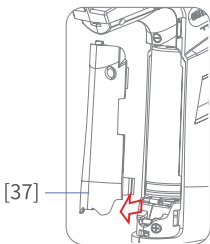
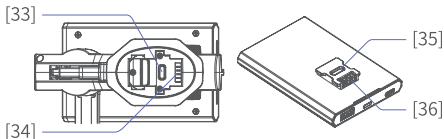
[26] TR3

[27] TR4

[28] バッテリーコンパートメント、
内蔵3500mAh 18650バッテリー



*注意：調整ネジを完全に緩めないでください。

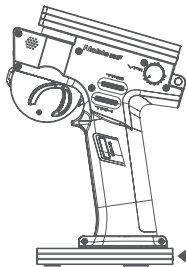


- [29] スロットルトリガー
構造移動調整穴
- [30] スロットルトリガー
張力調整穴
- [31] ステアリングホイール
張力調整穴
- [32] スロットルトリガー
サイズ調整穴
- [33] クリップ
- [34] ハンドル電源ポート
- [35] クリップスロット
- [36] ベース電源ポート
- [37] 18650バッテリーカバー

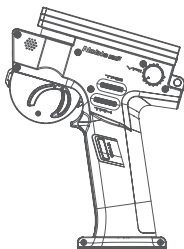
ベース

ベースの電源が入っている間は、送信機の充電を開始し、USB 5V 2A 出力ポートを介して外部電子機器に電力を供給できます。

送信機を充電する必要がある場合はベースを送信機に取り付けておき、ベースのみを充電する場合は、USBタイプCケーブルを差し込み、ベースにあるタイプC入力ポートから充電します。



① ベースを持ち上げます



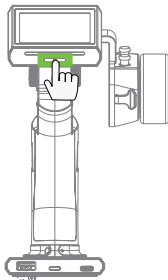
② ベースを
前方に押します



③ ベースを取り外します

電源オン

1. 画面がオンになるまで、送信機の電源ボタンを押し続けます。
2. 使用前に、バッテリーが完全に充電されていることを確認してください。



電源オフ

1. 受信機の電源をオフにします。
2. 画面がオフになるまで、送信機の電源ボタンを押し続けます。



送信機の電源をオフにする前に、受信機の電源がオフになっていることを確認してください。受信機より先に送信機の電源をオフにすると、モデルまたはエンジンの制御が失われ、事故につながる可能性があります。

LED表示

Noble NB4+には2つのステータス インジケーターがあります。1つは送信機上部の画面の下、もう1つは取り外し可能なベースにあります。

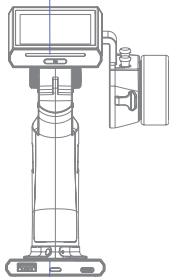
送信機インジケーター

LEDは、赤、緑、青、黄、白の5色に設定できます。LEDを完全にオフにすることもできます。

設定:

1. 機能メニューアイコンをタッチし、[システム]をタップします。
2. [LED]をタップします。
3. タップして色を選択します。LEDの色はリアルタイムで更新されます。
4. カスタマイズする場合は、[カスタム]をクリックして設定インターフェイスに入り、設定するオプションを選択してから、「+」または「-」をクリックして適切な値を設定するか、画面を直接タップしてスライドして設定し、をクリックしてから[はい]をクリックしてポップアップウィンドウで設定を完了します。

送信機インジケーター



ベースバッテリーインジケーター

ベースバッテリーインジケータ

ベースバッテリーインジケータには4つのLEDがあり、主にベースのバッテリーレベルを表示するために使用されます。

ベースバッテリーの電圧が低い場合、インジケータのLEDライトが1つだけ点灯し、点滅し始めます。

充電中はLEDが点滅し、バッテリーの充電が進むにつれて点灯あるいは点滅するLEDの数が増えていきます。

使い方：

ベースにある電源ボタンを押して電源を入れると送信機の充電および、USB出力ポート経由で他の5Vデバイスの充電を開始します。

電源ボタンをもう一度押し続けると、充電機能がオフになります。



ベースを充電しながら他のデバイスを使用しないでください。
外部デバイスが過剰な電力を消費している場合に過負荷保護が
作動する可能性があります。

フェイルセーフ

この機能は、信号が失われた場合にモデルとそのユーザーを保護するために設計されています。

フェイルセーフ機能は3つの方法で設定できます。i-BUSおよびPPM信号を出力なしの状態に設定できます。すべてのチャンネルを個別に出力なし、保持、または固定値に設定できます。すべてのチャンネルを現在の出力値に固定値に設定できます。設定は、機能メニューアイコンをタップし、[Rx設定]をタップし行います。

i-BUS/PPM出力無し

オプションの右側のチェックボックスがオンになっている場合 (), 機能は有効であることを示します。チャンネルごとに固定値または最後の出力値を維持するかを設定できます。

個別のチャンネルの設定

1. 設定するチャンネルをタップします。
2. 必要に応じて適切なオプションをタップします。固定値を選択した場合は、スロットルトリガー（ステアリングホイール、ボタン、またはノブ）を目的の位置に移動して保持し、 をタップして設定を終了します。

すべての固定値チャンネルの設定

スロットルトリガー（ステアリングホイール、ボタン、またはノブ）を目的の位置に移動して保持しながらこの機能をタップすると、画面が表示されます。[はい]をクリックして終了します。



注意

- ・ 安全のため、すべてのユーザーは使用前にこの機能を事前設定することをお勧めします。

サーボ周波数

この機能は、サーボ制御周波数を調整するために使用されます。

この機能は、アナログサーボ（95Hz）、デジタルサーボ（380Hz）、カスタムに設定することもできます。カスタム周波数の範囲は50～400Hzです。

サーボ周波数は、接続された受信機によって若干異なります。

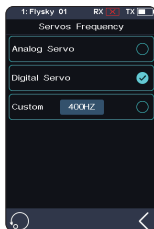
設定：

機能メニューアイコンをタップし、[Rx設定]→[サーボ周波数]をタップし行います。

1. [サーボ周波数]をタップします。
2. 対応するオプションをタップします。
■をタップすると、前のインターフェイスに戻ります。

※ 送信機のRF設定が[AFHDS 3 1Way]に設定されている場合、サーボ応答速度を変更してから■をタップします。システムから「バインドまたは再バインド後に有効になります。バインドしてもよろしいですか?」というメッセージが表示されます。

[カスタム]を選択した場合は、「+」または「-」をタップして周波数を調整します。



！ サーボの周波数を高くすると応答性が良くなりますが、ハンチング（振動）が出やすくなります。

拡張バージョン受信機の場合に表示される項目

[SR]：サーボ周波数の仕様の1つ（PWM周波数は833Hz）。

[SFR]：サーボ周波数の仕様の1つ（PWM周波数は1000Hz）。

注意：サーボが対応する周波数をサポートしていることを確認してください。そうでない場合、サーボが正しく動作しないか、サーボが損傷する可能性があります。



設定：

1. [ステアリングデジタルサーボ]またはその他のオプションをタップして、機能設定インターフェイスに入ります。
2. サーボが対応する周波数をタップします。前のインターフェイスに戻るには、をタップします。[RFシンクロ]の右側にあるチェックボックスをタップします。アイコンがに変わります。この機能のサーボ周波数は、チェック後、RFに同期されます。



アナログサーボ（95Hz）とデジタルサーボ（380Hz）はどちらも一般的なサーボ周波数であり、クイックセットアップ用のプリセットとして利用できます。サーボが正常に動作するには、正しい周波数にする必要があります。使用するサーボの取扱説明書を参照してください。

ファームウェアの更新

送信機のファームウェアは、USB Type-Cケーブルを使用してWindowsコンピュータに接続することで更新できます。この機能を有効にすると、送信機のすべての機能が動作しなくなります。車両が制御を失うのを防ぐため、この機能を使用する前に受信機の電源をオフにしてください。



警告

・ファームウェアの更新中は、USB Type-C
ケーブルを外さないでください!

このファームウェアは、次の 2 つの方法で更新できます。

- ・この送信機のファームウェアは、FlyskyAssistantを介して更新できます（FlyskyAssistant のファームウェアは、Flyskyの公式Webサイトで入手できます）。
- ・または、以下の手順に従って更新します。
 1. 最新の公式ソフトウェアをダウンロードしておきます。
 2. 最初に USB Type-C経由で送信機をコンピュータに接続します。
 3. [ファームウェアアップデート]をタップします。
「アップデートモードに入ると、他のすべての機能が無効になります。」という警告が表示されるので、[はい]をタップして続行します。

4. 前項の手順を完了したら、コンピュータのソフトウェアを開き、更新ウィンドウで[更新]をタップして更新を開始します。
5. 更新が完了すると、送信機は更新機能を自動的に終了し、再起動します。（USB Type-Cケーブルを安全に取り外すことができます）。



・ファームウェアの更新後、受信機が接続されない場合があります。この場合は、RFモジュールと受信機を更新する必要があります。

RFモジュールの更新

設定：

機能メニュー→[モデルメモリー]→[無線周波数の設定]→[アップデートRF]
でファームウェアを更新できます。

送信機のファームウェアが更新された後、受信機のバインドが失敗する場合は、RFを更新する必要があります。

[RFの更新]をタップし、画面表示されたら[はい]をタップします。更新の進行状況が表示されます。数秒待つと更新が完了します。送信機は更新インターフェイスを自動的に終了します。

受信機ファームウェアの更新

送信機のファームウェアを更新した際は、受信機も更新する必要がある場合があります。

受信機によって、ファームウェア更新方法が異なる場合があります。Webサイトで関連する受信機の手順を参照してください。

<https://kyosho.amebaownd.com/posts/16786305>

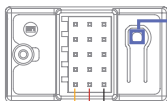
設定：

機能メニュー→[Rx設定]→[受信機アップデート]で更新します。

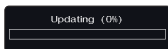
- ・ GMRやINr4などの一部の受信機は、「Flysky Assistant」を使用して更新する必要があります。
- ・ 受信機と送信機がバインドしてある場合、受信機ファームウェアが最新バージョンの場合は、[現在のバージョンは新しいバージョンです。アップグレードは必要ありません。]という画面が表示されます。受信機ファームウェアが古いバージョンの場合は、[受信機を更新しますか?]という画面が表示されます。[はい]をタップして受信機を更新します。

例：FGr4B

受信機をファームウェア更新モードにする方法は2つあります：



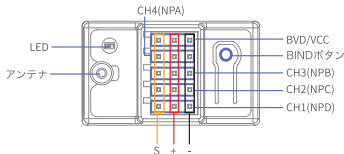
1. BINDボタンを押したまま受信機の電源を入れ、LEDが3回点滅したら、BINDボタンを放します。
2. 最初に受信機の電源を入れ、BINDボタンを押し続けます。受信機のLEDが3回点滅したら、BINDボタンを放します。
3. 送信機を、機能メニュー→[Rx設定]→[受信機アップデート]→受信機を選び、更新を開始すると、送信機に次のような表示がされます。更新が100%に達すると、更新は成功です。



バインド

送信機と受信機は工場ですでにバインドされていますが、再度バインドする場合や新しい受信機をバインドする場合は、以下の手順に従ってください：

例：FGr4B



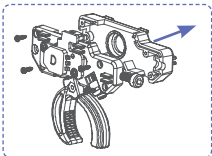
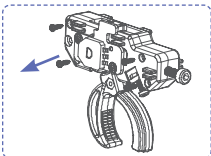
1. 機能メニュー→[Rx設定]→[バインド設定]→[バインドスタート]とタップし、送信機をバインドモードにします。
2. 受信機の電源を入れ、BINDボタンを3秒間押し続けます。受信機のLEDが高速で点滅し、受信機がバインドモードになっていることを示します。
3. 受信機のLEDが点滅を停止して点灯状態になると、バインドモードが完了します。
 - ・無線周波数（RF標準）が「AFHDS3 1Way」に設定されている送信機（送信機ของผู้사용자手册を参照してください）がバインドモードに入ると、LEDがゆっくりと点滅します。バインドモードを終了するには、送信機の戻るボタンをタップする必要があります。受信機のLEDが点滅を停止して点灯状態になると、バインドモードが完了します。
4. 送信機と受信機の機能が正しく動作していることを確認し、問題が発生した場合は手順1～3を繰り返します。

これらの手順は、FGr4B受信機で使用されるNoble NB4+送信機のみを対象としています。他の受信機を使用する場合は、[バインド設定]→[クラシック受信機]→[バインドスタート]と進む場合があります。各受信機の取扱説明書でバインド方法をご確認ください。

トリガースプリングの交換 (付属のソフト/ハードスプリングへ交換する場合)

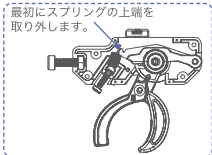
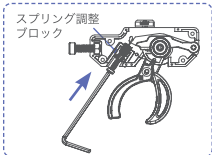
1. 4本のネジ (PWA 2.1×6mm) を外します。

2. 上部トリガーカバーを外します。



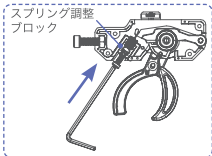
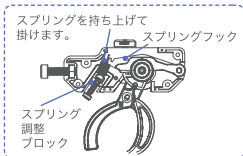
3. ネジ (HB2×9mm) を1.5mm 六角ドライバーで調整し、スプリング調整ブロックを一番下まで調整します。

4. スプリングの上端を持ち上げて、最後にスプリングを取り外します。

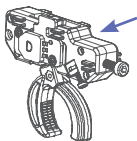


5. スプリングの下端をスプリング調整ブロックに掛けてから、スプリングを持ち上げて掛けます。

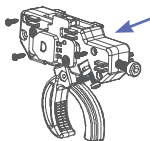
6. ネジ (HB2×9mm) を1.5mm 六角ドライバーで調整し、スプリング調整ブロックを適切な位置に調整します。



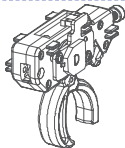
7. 上部トリガーカバーを取り付けます。



8. 4本のネジ (PWA 2.1×6mm) を締めてトリガーカバーを固定します。

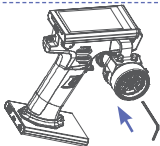


9. トリガースプリングの交換を完了します。

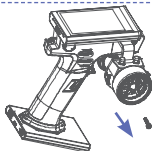


ステアリングホイールスプリングの交換 (付属のソフト/ハードスプリングへ交換する場合)

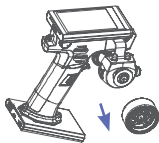
1. まず、ステアリングホイールを固定するネジ穴に2.5mm六角ドライバーを挿入します。



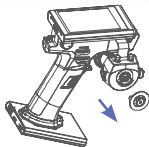
2. 2.5mm六角ドライバーを反時計回りに回して、ネジ (HM3×12mm) が完全に緩んだら取り外します。



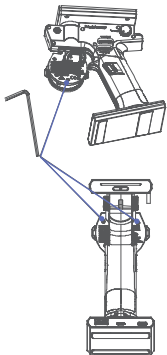
3. ステアリングホイールを取り外します。



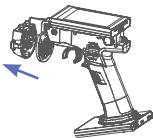
4. ブレーキパッドを2本の指でつまんで、上向きに取り外します。



5. 1.5mm六角ドライバーでネジを反時計回りに回して取り外します。

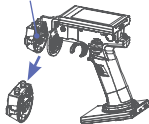


6. ステアリングホイールベースを取り外します。

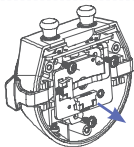


7. FPCワイヤを取り外し、ステアリングホイールベースを取り外します。

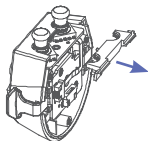
FPCワイヤを取り外します



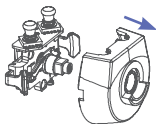
8. ネジを取り外します
(PWA2.1×6mm)。



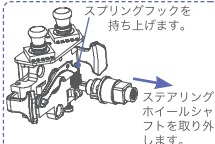
9. キャップを取り外します。



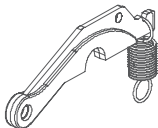
10. 上部のステアリングホイール
パッドカバーを取り外します。



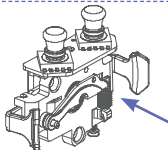
11. 片手でスプリングフックを
持ち上げ、もう一方の手でステ
アリングホイールシャフトを取り
外します。



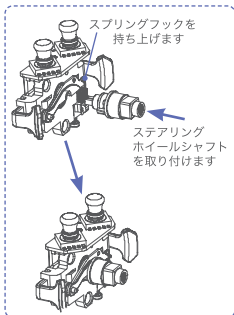
12. スプリングフックとスプリ
ングコンポーネントを取り外し、
スプリングを交換します。



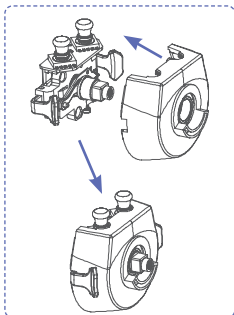
13. スプリングコンポーネント
を取り付けます。



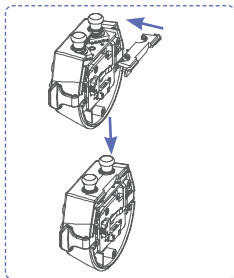
14. 片手でスプリングフックを持ち上げ、もう一方の手でステアリングホイールシャフトを取り付けます。



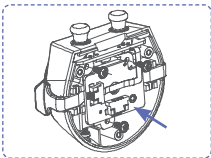
15. 上部ステアリングホイールパッドカバーを取り付けます。



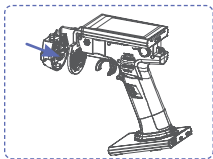
16. キャップを取り付けます。



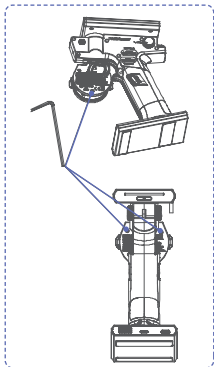
17. ネジ (PWA2.1×6mm) をロックします。



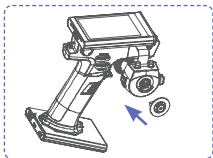
18. FPCワイヤを接続します。



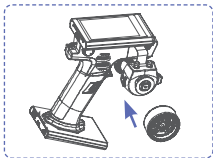
19. ネジ (HB2×9mm) を固定します。



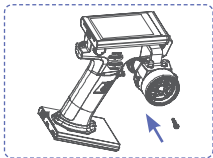
20. ブレーキパッドを取り付けます。



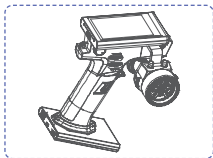
21. 向きに注意してステアリングホイールを取り付けます。



22. ハンドルを固定するネジ穴にネジ（HM3×12）を挿入し、2.5mm六角ドライバーでネジを固定します。



23. ハンドルスプリングの交換を完了します。



トリガーの説明

この送信機のアクセサリには、3つのトリガーが含まれています。

- ・ SとLのマークが付いたトリガーの開口部のサイズは調整できません。
 - ・ もう一方の開口部のサイズは調整できます。
- 開口部のサイズは、トリガーの側面にあるネジで調整する必要があります。

実際の状況に応じて適切なトリガーへ交換することをお勧めします。

仕様

製品モデル	Noble NB4+
互換性のある受信機	FGr4Bおよびその他のAFHDS 3受信機
互換性のあるRCモデル	車またはボート
チャンネル数	8
RF（無線周波数）	2.4GHz ISM
最大出力	<20dBm(e.i.r.p.)（EU）
RFプロトコル	AFHDS 3
低電圧アラーム	<3.65V
データコネクタ	USBタイプC
充電ジャック	USBタイプC
アンテナ	外部シングルアンテナ
ディスプレイ	3.5インチ320×480フルドット マトリックスカラーIPSタッチスクリーン
解像度	4096
入力電圧	1S（4.35V）*4300mAhリチウムポリマー バッテリー+3500mAh 18650バッテリー
距離	>100m（干渉のない地上距離）
オンライン更新	あり
温度範囲	-10°C～+60°C
湿度範囲	20%～95%
色	ブラック
寸法	131.41×115.95×190.56mm
重量	520g
認証	CE、FCC ID：2A2UNNB4PLUS00、MIC、 RCM、IC：25584NB4PLUS00

● 詳細については、ユーザーマニュアルをお読みください。

MEMO

[illegible]

MEMO

[illegible]



京商ホームページ
www.kyosho.com

*KYOSHO CORPORATION hereby declare that this product is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
The Declaration of Conformity (DoC) can be downloaded at following URL. www.kyosho.com/eng/support/doc/index.html

*Hiermit erklärt die KYOSHO Corporation, dass dieses Produkt in Übereinstimmung mit der Richtlinie 1999/5/EC ist und ihr in allen relevanten Punkten entspricht.
Die Konformitätserklärung kann unter dem folgenden Link abgerufen werden: www.kyosho.com/eng/support/doc/index.html

*Par la présente, KYOSHO CORPORATION déclare que cet équipement est conforme aux exigences essentielles et aux autres dispositions de la directive 1999/5/CE qui lui sont applicables.
La déclaration de conformité peut être consultée à l'adresse suivante: www.kyosho.fr/rte-doc.htm

*Por medio de la presente KYOSHO declara que este producto cumple con los requisitos esenciales y cualesquiera otras disposiciones aplicables o exigibles de la Directiva 1999/5/CE.
La Declaración de Conformidad (DoC) puede descargarse en la siguiente dirección de Internet:
www.kyosho.com/eng/support/doc/index.html

FCC CAUTION

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

京商株式会社

〒243-0021 神奈川県厚木市岡田3050
厚木アクストメインタワー7F

●ユーザー相談室直通電話

046-229-4115

お問い合わせは：月曜～金曜(祝祭日を除く)

13：00～18：00

PRINTED IN CHINA

メーカー指定の純正部品を使用して
安全にR/Cを楽しみましょう。